



自分の可能性を社会に出て広げよう!

宮田陽一@新生化学工業(株)代表取締役(Twitter)

小中学校では平凡な成績、高校時代は下から数えた方が早い、プロのギタリストになろうと東京へ、そして挫折。私21歳から勉強して大学にw社会に出て図形や化学の知識が必要になり少し勉強、31歳にアメリカ出向し、南部なまりの黒人英語w40歳で社長となり目上の社員の前で訓話するが誰も聞いていないwそこで中国古典の引用。小中高時代の学業がなんらか社会で必要とされていた。しかし学生当時は、そんな必然性やリアリティが無いので、ろくに勉強もしてこなかったw友達をたくさん作って遊んできたことは、社会で役立つことも多い。働き出すと会社が学校、仕事教材。今からでも遅くない自分の可能性を社会に出て広げて行こう!



精密プラスチック部品の生産、供給で社会に貢献

主な業務 内容

本社は滋賀県大津市、豊岡市を含む国内3拠点と、海外はアメリカ(ジョージア州)、タイ、インドネシアに現地法人を置いています。グローバルな精密プラスチック成形会社であり、全従業員数は約600名です。主に車載部品、電池部品を製造し、金型設計、設備設計、試作、組立/印刷などの二次加工もワンストップで行えます。



バイオマス原料を使った乾電池用ガスケット

乾電池のプラス極とマイナス極の絶縁(ガスケット)に使用されている石油由来の一般的ナイロンを、ひまし油のひまから生成された植物由来(バイオマス)のナイロンにすることに成功しました。現在は国内の約60%の乾電池に使われています。この技術が評価され、2020年に文部科学大臣賞を受賞しました。



世界初、ミッションバルブのプラスチック化に成功(軽量化)

車のトランスミッションに使われる油は細いホースを使って流れます。このホースのジョイント部分に従来は金属の真ちゅうが使われていましたが、プラスチック化しました。このパーツにゴムパッキンや金属メッシュ品を組み入れる自動組立機、自動検査機を開発(特許化)し、高品質な生産を行っています。

